

今年も残りわずかとなりました。11月は学期末の試験やプレゼンテーションに備え、勉学に励んだ一か月でした。今回は、福井県のアメリカ国際ビジネス研修、Thanksgiving、Spanish table、学期末のプレゼンテーション、そして半期で帰ってしまう日本人留学生の Farewell party についてお伝えします。

アメリカ国際ビジネス研修

10月30日から11月9日まで、福井県から6人の社会人の方々がフィンドレーを訪れ、ビジネス研修を行いました。参加者の方々は様々な企業を訪問し、プレゼンテーションを行っているようでした。私は福井県奨学生として食事を共にさせていただき、また大学で行われたプレゼンテーションを拝見させていただきました。私は大学入学を機に福井県に来たため、普段は大学や病院関係以外の方々との交流はほとんどありませんでした。皆さんのお話の中で、素晴らしいサービスや商品を全国、そして世界に提供している企業が福井県には多くあることを知りました。それと同時に福井県とフィンドレーは留学による交流だけでなく、企業同士の交流を通じた深い絆があることを改めて実感しました。

Thanksgiving holiday

アメリカでは、11月の第4木曜日は Thanksgiving と呼ばれる祝日です。秋の収穫に感謝し、多くの人が家族で集まります。私はルームメイトの実家に招待させていただき、アメリカの伝統的な Thanksgiving を体験させていただきました。車でオハイオ州を南西に2時間ほど行くと、彼女の実家につきました。彼女には年の離れたお姉さんが2人いて、それぞれ3人ずつ子供がいます。そのうち5人は3歳以下で、滞在中はとても賑やかで楽しい時間を過ごしました。Thanksgiving の特徴の一つは食事です。日本のお正月のように、Thanksgiving に食べるものは伝統的に決まっており、代表的なものには七面鳥、マッシュポテト、グリーンベーンキャセロール、パンプキンパイなどがあります。七面鳥丸々一羽を調理する様子は迫力があり、とてもおいしかったです。翌日の金曜日は Black Friday といい、どこのお店でも大規模なセールが行われます。ルームメイトのお姉さん2人が朝5時半からショッピングに行くというので私もついていこうと気合を入れたのですが、私と彼女は結局起きられず、大学に帰る途中でモールによって買い物をすることにしました。アメリカの Thanksgiving を体験することは、私の留学の目標の1つでした。暖かく迎え入れてくださったルームメイトと家族の皆さんに心から感謝します。



Spanish table

今学期はスペイン語専攻の友人が週に三回、学内のフードコート近くにあるテーブルの1つで Spanish Table を行っていました。Spanish Table とはスペイン語を学ぶ学生や興味のある学生がそのテーブルに立ち寄り、スペイン語を学ぶというものです。中学生の時に一年だけスペイン語の授業をとっていたことがあり、またいつか勉強

したいと思っていたので、先月から時間のある時は Spanish Table に立ち寄るようにしていました。はじめはスペイン語専攻の友人のほかに、スペイン語を母国語とするコロンビア人の友人2人と4人で勉強していることが多かったのですが、回を重ねるごとにほかの留学生もたくさん参加するようになり、だんだんとスペイン語だけでなく、お互いの言語も教えあうようになりました。言語を学ぶことは、文化を学ぶことでもあります。来学期も Spanish Table を通して様々な言語と文化の理解を深めていきたいと思います。



プレゼンテーション

学期末に差し掛かり、それぞれの授業でこれまでの集大成として、レポートやプレゼンテーションが課されました。レポートは頻繁に課題で出されるためそこまで苦労はしませんでした。プレゼンテーションは大学生になってからはほとんど経験がなく、それに加えて英語で行わなければならないということでもかなり不安でした。特に苦労したのが日本映画の授業です。私は映画『君の名は。』に出てくる「かたわれ時」という造語が万葉集に出てくる「かわたれ時」に由来しているという考察から、日本の古典文学の中にみられる時間を表す言葉と、その当時の人々の生活について発表しました。日本語の言葉の深い意味まで英語で表現することがとても難しく、プレゼン前の数日は毎日夜遅くまで家に帰らずにパワーポイントと格闘していました。精一杯準備はしたものの、結果は悔いの残るものでした。プレゼンテーションをうまくできるようになるには、練習と実践の積み重ねが欠かせないと思います。将来人の前で話すことがどれだけあるかはわかりませんが、どんな仕事をしていても避けては通れない道だと思います。来学期はスピーチの授業をとる予定なので、この留学を通して人前で話すことに慣れたいと思います。

Farewell party

私たち日本人留学生は全部で19人いますが、その中でも約半数の8人が今学期で帰国してしまいます。11月末に Farewell party が開かれ、50人以上の人が彼らを見送るために集まりました。一人一人のスピーチを聞きながら、それぞれが同じ留学を通して違う経験をしたことを知り、そしてあまりにも時間の流れが速いこと、また自分自身も多くの人の支えの中でこれまでの留学生活を過ごしていることを実感しました。日本全国から来た8人とここフィンドレーで出会い、4か月間の時間を共に過ごすことができたこと、心から嬉しく思います。私も残りの時間、一日一日を大切に過ごしていきたいです。



本報告書に関してご要望やお問い合わせ等ございましたら、以下のメールアドレスまでご連絡ください。
nagaim@findlay.edu